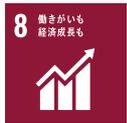


所属・職位	福祉健康科学部福祉健康科学科心理学コース・准教授	
氏名	溝口 剛 (Mizoguchi Tsuyoshi)	
取得学位	修士 (心理学)、広島大学、1997年3月	
SDGs目標	  	

研究分野	臨床心理学
研究キーワード	精神分析的な心理療法, 情緒発達と心理支援, 地域支援ネットワーク

研究内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関係論の視点からみた精神分析的な心理療法の実践と理論的検討 クライアントの心理力動の理解や有効な心理療法的関わりについて、特に関係論的精神分析の立場から検討を行っている。またセラピストの訓練過程における臨床経験の組織化と対人関係という観点から検討を行っている。</li> <li>2. 児童期・思春期・青年期の情緒発達と心理支援に関する研究 大学生が直面しがちな心理的問題や学生生活サイクル上の問題、学生支援体制等に関する研究を行っている。また、不登校など学校不適応を呈する児童生徒の心理学的理解や彼らに対する心理支援に関する論考も継続している。</li> <li>3. 現代青年の心理的問題と援助、ならびに地域支援ネットワークに関する研究 おおいたひきこもり地域支援センター（青少年自立支援センター）の立ち上げ初期から9年間スーパーバイザーとして携わり、並行して不登校児童生徒の親同士のネットワーク構築事業や大分いのちの電話相談員養成講座などにも携わっている。</li> </ol>
------	--

研究業績・アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●論文 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理臨床家としての核 (core) をつくる—「公認心理師」時代の相談室における臨床教育の意義 (単著)；大分大学臨床心理研究第2号, 2-11., 2021年</li> <li>2. ひきこもり傾向をもつ若者のバウムテストにみられる描画特徴 (共著)；大分大学大学院教育学研究科心理教育相談室紀要第7号, 145-156., 2011年</li> <li>3. 「五月病」からアイデンティティの旅へ (単著)；大学と学生15号, 45-50, 2005年</li> <li>4. 対象関係からみた「うらみ」の様相～般若にみられるうらみの分析を通して～ (単著)；心理臨床学研究18(6), 606-614., 2001年</li> </ol> </li> <li>●著書 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 時間のかかる営みを、時間をかけて学ぶための心理療法入門 (共著)；創元社, 2019年</li> <li>2. 教育臨床学の実践—学校で行う心と発達へのトータルサポート— (初版/第2版) (共編著)；ナカニシヤ出版, 2011年/2018年</li> <li>3. 大学生の心の成熟と転落を左右する対人関係のもち方—そのメカニズムとコミュニケーションのあり方— (共著)；あいり出版, 2012年</li> <li>4. 精神分析における未構成の経験—解離から想像力へ— (D.B.スターン著) (共訳)；誠信書房, 2003年</li> </ol> </li> </ul>
---------------	--

役員

大学院教育学研究科  
教育学部

経済学部

医学部

医学部附属病院

理工学部

福祉健康科学部

その他学内施設等